

研究機関名：関門医療センター

承認番号	R0511-2
課題名	Borderline resectable 大腸癌肝転移の治療成績の検討
研究期間	西暦 2012年 1月 1日 ～ 2023年 12月 31日
研究の対象	2012年1月1日から2022年12月31日の間に当該機関を受診し、大腸癌肝転移に対して初回肝切除を施行した70例
利用する試料・情報の種類	診療情報（年齢、性別、病歴、治療歴、病理組織（腫瘍径、腫瘍個数、深達度、組織分化度、リンパ節転移の有無）、生存、再発の有無など）
研究の意義、目的	大腸癌肝転移（CLM）の肝切除適応は拡大しているが、その病態は多様であり切除可能性分類はいまだ定まっていない。当院では腫瘍径5cm以上、個数5個以上、もしくは短期間で腫瘍の増大を認める症例は腫瘍学的に悪性度が高い Borderline resectable (BR)と定義し、術前化学療法（NAC）後の肝切除を治療方針としている。BR-CLM の治療成績を検討した。
研究の方法	再発、生存について検討した。
その他	当研究は、受託研究費、試薬及び関連する消耗品の提供、医療機器の貸与（又は譲渡）はありません。本研究の利害関係については関門医療センター倫理委員会の審査と了承を得ています。また、本研究の経過を定期的に倫理委員会へ報告を行います。 研究は治療介入を行わない後ろ向きの症例報告です。疾患の治療方針は通常診療として主治医と患者さんの意思により決定されるため、本研究に参加することによる治療上での直接的な患者さんの利益、不利益はともにありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 752-8510 山口県下関市長府外浦町1-1 関門医療センター 外科 0832-41-1199 研究責任者：坂本和彦